ぽっぽニュース

ご報告　訪問看護ステーションとの交流会を開催

去る２０１９年 10 月４日、「患者が望む療養生活を継続するための支援・連携の在り方について考える」と題した訪問看護ステーションとの交流会(地域連携研修会)を開催いたしました。阿倍野区、平野区、住吉区、東住吉区の訪問看護師 27 名と当院の看護師・医療ソーシャルワーカーら 39 名により、テーマに基づくグループワーク形式の事例検討を行い、活発な意見交換ができました。

これからも地域の療養担当者との連携を強化し、患者さん・ご家族が望まれる退院後の生活が実現できるよう、取り組んでまいります。

ご報告「第 46 回病診連携による生涯教育研修会」を開催

去る 2019 年９月７日、都シティ大阪天王寺にて「病診連携による生涯教育研修会」を開催いたしました。

第 46 回目を迎えた今回のテーマは「より良い地域包括ケアシステムの確立に向けて～連携；望むこと・望まれること～」。医療法人正和病院・西浦弘行院長による基調講演をはじめ、他職種の方からご講演いただき、学び多き時間となったと自負しております。多数のご参加を賜り、心より感謝いたします。

今後も現状をとらえたテーマを探りつつ、開催を重ねてまいる所存です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

【基本方針】
安全で良質な医療を実践し、信頼される病院を目指します。
多機能型急性期病院としてチーム医療を推進し、継続的な医療を提供します。
地域に根ざした病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company
〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 1 丁目 2-22
TEL.06-6628-2221 FAX.06-6628-4707
ホームページ http://www.jrosakahosp.jp

受付時間／午前 8 時 30 分～午前 11 時 00 分
診療開始／午前 9 時 00 分～
休診日／土日祝・年末年始（12 月 30 日～ 1 月 3 日）

201912

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

地域連携 ぽっぽ
よりよい医療の始発駅

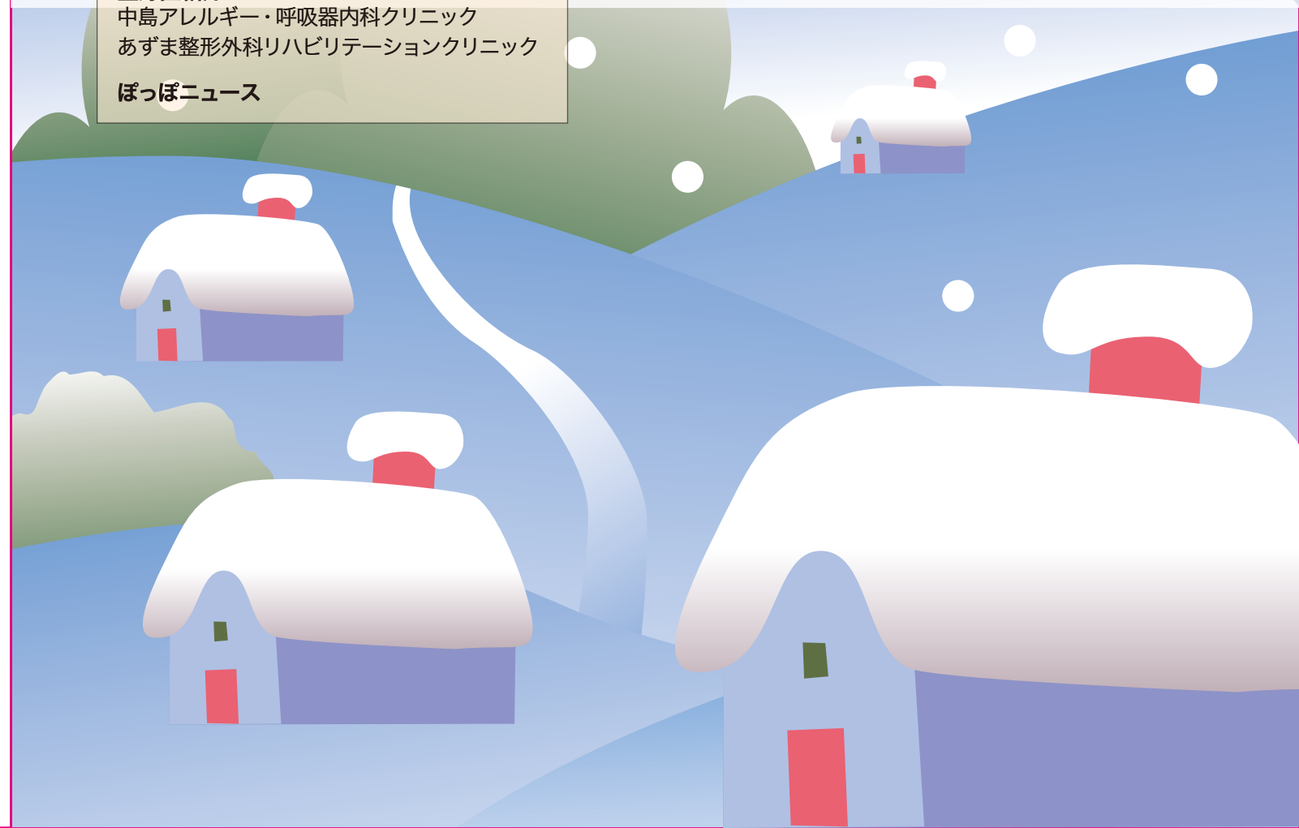
Vol.13
2019 December

診療科 UPDATE
泌尿器科
ドクター・インタビュー
部長　米田 幸生
担当部長／吉村 力勇　森本 和也　畠中 聡

専門領域を究めるリソースナースたち
皮膚・排泄ケア認定看護師　米田 愛
がん化学療法認定看護師　中島 いづみ

登録医紹介
中島アレルギー・呼吸器内科クリニック
あずま整形外科リハビリテーションクリニック

ぽっぽニュース



「診療科 UPDATE」

泌尿器科

ドクターインタビュー

周辺医療機関との病病連携もスムーズに 安心の医療を実践する泌尿器診療のエキスパート。

常勤４名・非常勤２名で充実した体制を整える当院泌尿器科。
大阪市立大学医学部附属病院と技術・情報を共有し、
患者さんのご要望にかなう医療を提供できるよう努めています。

部長

米田幸生

米田 幸生（よねだ ゆきお）

1993年大阪市立大学医学部卒業後、同大学大学院を経て泌尿器科医に。2005年４月当院に赴任、2017年より現職。日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医。

年々増加する泌尿器科疾患に対応

当院では、尿路生殖器腫瘍、尿路結石症、排尿障害、尿路感染症を中心に、あらゆる泌尿器科疾患に対応しています。

近年では、食生活の欧米化や高齢者人口の増加に伴い、泌尿器科疾患も増加の一途をたどっています。

特に前立腺がんに至ってはがんのなかでも増加率が1位で、数年内には男性の罹患率トップになると予測されるほどです。しかしそれと歩みを合わせるように、医療技術も格段に向上しています。前立腺がんはもちろん、さまざまな疾患で検査の簡易化・正確化が進み早期発見が可能になるとともに、治療の選択肢も多様化しています。

当院においては、患者さんの状況に応じて、前立腺がん、膀胱がん、腎臓がん、精巣がんなどの悪性腫瘍に対しては外科的治療、放射線治療、化学療法、免疫療法を、また排尿障害をきたす良性の前立腺肥大症に対しては経尿道的前立腺切除術（TUR-P）などの外科的治療に加え、さらなる低侵襲性治療や薬物療法も実施しています。また、尿路結石症に対しては必要に応じて最新機器による体外衝撃波結石破砕術（ESWL）や経尿道的内視鏡による結石破砕治療（TUL）を行い、良好な治療成績をあげています。

プロフィール＋α

絵画鑑賞が好きです。和洋を問わず、これはと思う展覧会があれば、足を運びます。私自身は絵を描くのが苦手で、手術レポートでイラストを描くのが苦痛だったんですけどね（笑）。

最先端の体外衝撃波結石破砕装置（ESWL）

安心安全を担保する医療連携

当院泌尿器科は大阪市立大学医学部附属病院との強固な提携体制のもと、常に情報と技術を共有し、高度な医療を実践してきました。ダヴィンチによるロボット手術や、前立腺がんの内視鏡的手術、あるいは移植など、当院では対応が不可能な最先端医療についても、すみやかな紹介と情報共有により、安心して治療を継続していただけます。

マンパワーにおいても、常勤の当院医師４名に加え、非常勤として市立大学病院の２名の先生による外来を実施。全員が同大学病院の出身者であることから、仲間意識が高くコミュニケーションも密で風通しのよい雰囲気です。何より物理的に至近であることも、よりスムーズで柔軟な対応につながっています。

さらに大阪赤十字病院、大阪警察病院、第二大阪警察病院という阿倍野・天王寺地区の４病院による医療連携体制も確立。症例検討会など積極的な交流の機会を設けて情報共有とノウハウ交換に努め、信頼関係を築いています。

女性にも寄り添える泌尿器科診療を

看護師 玉城 広実

泌尿器科といえば、排尿困難が主訴となり、一般の方がいきなり診療を受けるにはハードルが高い印象があります。また、どうしても男性患者さんが多いなか、女性が受診されるにはやはり多かれ少なかれ勇気が必要になると思います。当院泌尿器科の先生方は明るく気さくで話しやすい雰囲気ですが、待合室においてもお越しになった女性患者さんが居づらい雰囲気にならないよう、同性の看護師としての配慮や声がけを大切にしています。

なんといっても尿をしっかりためてしっかり出すのは、生活の質を保つ基本です。我慢して受診を遅らせることなく、少しでも早く適切な診断治療のもとで早期回復していただくのが私たちの願いです。登録医の先生方におかれましても、積極的なご紹介をお待ちしています。

わかりやすい説明で納得いただける治療を

私自身はもともと私立大学で応用科学を専攻していたのですが、学費の安さに惹かれて大阪市立大学医学部に移りました（笑）。優秀な先輩ばかりで、本当に自分に務まるのだろうかと不安に思ったこともありましたが、なんとかここまで続けてこられました。いいことはさっさと忘れ、苦労しか覚えていないタイプの人間ですが（笑）、逆に言えばそのおかげで後悔や失敗を教訓に成長できたのかもしれません。

診療についても、格好をつけず肩肘張らず、フランクに患者さんに向き合っていきたいと思っています。なにせほとんどの患者さんが高齢の方なので、会話はわかりやすくストレートな言葉で、伝えたいことをしっかりと伝えることが一番。それでも万が一ご理解いただけなかったり認識違いがありそうだったりする場合は、熟練した看護師が阿吽の呼吸でフォローしてくれるので、頼りにしています。

もちろんデリケートな部位の疾患であるだけに、患者さんのプライバシーには十分に配慮した検査、治療を心がけています。また、近年では過活動膀胱など女性の泌尿器科疾患も注目されていますが、当院は男性医師のみのため、受診をためらわれる方もいらっしゃるかもしれません。その点でも、不快な思いをされることのないよう、スタッフ一同きめ細かな心配りをしているつもりです。

今後もそれぞれの患者さんに応じた治療をすみやかに実践してまいりますので、登録医の先生方におかれましては、どうぞ安心してご紹介ください。

「診療科 UPDATE」

泌尿器科

ドクターインタビュー

的確な判断のもと、最適の医療を提供。ハイレベルな技術、抜群の連携力を誇る当院泌尿器科チーム。

泌尿器科

＜医師紹介＞

地域ぐるみで、患者さんの「フルオーダー医療」を。

担当部長　吉村 力勇（よしむら りきお）

プロフィール＋α

学生時代はラグビー部でならしました。今も趣味はラグビー観戦。
今年のＷ杯は興奮の連続で、いい夢を見させてもらえました。今後がますます楽しみです。

1989 年大阪市立大学大学院修了。八尾市立病院泌尿器科副医長、大道会大道病院泌尿器科医長、リヨン第一大学（フランス）腎臓病・移植・免疫学教室主任、大阪市立大学大学院医学研究科（泌尿器病態学講座）講師等を経て 2010 年より当院泌尿器科部長を務め、2017 年より現職。日本泌尿器学会専門医、日本透析医学会認定医、日本泌尿器科学会指導医、日本がん治療認定機構がん治療認定医、第一リヨン大学客員教授、大阪市立大学大学院非常勤講師。大阪府国民健康保険診療報酬審査委員会委員。

２年前に定年を迎え、現在は担当部長として診療を続けています。今は、当院で一番年上になってしまったのではないでしょうか（笑）。地域の先生方ともほとんど顔見知りで、よい関係を築いてくることができたと思っています。

当院の特色といえば、やはり地域中核・中堅病院として地域に密着した医療体制の充実、阿倍野区では大阪市立大学医学部附属病院以外では唯一のがん診療拠点病院であることなどが挙げられます。

大阪市立大学医学部附属病院とのつながりが密接なことはいうまでもなく、私も大学病院に勤務時代からこちらに応援に来ていて、ほとんど垣根を感じていません。同レベルの知識、技術を共有し、阿倍野区全体でグループ医療に携わっている感覚です。

また、私が部長時代に、天王寺区の大阪赤十字病院、大阪警察病院、第二大阪警察病院（元 NTT 西日本大阪病院）の泌尿器科との友人関係から連携体制を確立しました。こうした多くのつながりで、当院でカバーしきれない治療や手術、また当院にない診療科への紹介も必要に応じてスピーディに行えます。

講演の機会があるたびに申し上げているのですが、もはや医療は「テーラーメイド」の時代です。患者さんのニーズに合ったフルオーダーの医療を実践するためにも、今や病診連携、病病連携は欠かせないことです。さらにこれからは、診診連携も取り入れていただくことで、より患者さんに寄り添う医療が実践できるはずです。互いによりよい関係のもとシームレスな医療体制を確立できるよう、私自身も、今後もさまざまな形で力を尽くしていきたいと思います。

泌尿器科 DATA

平成 30 年度入院主要手術実績

	（件数）
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	48
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	24
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用）	22
膀胱結石、異物摘出術　経尿道的手術	9
膀胱悪性腫瘍手術（全摘）・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（全摘）	7
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	5
陰嚢水腫手術（その他	4
抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用植込型カテーテル設置	4
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	4
経尿道的尿管狭窄拡張術	4
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	3

平成 30 年度退院患者疾病統計

	（退院患者数）
膀胱腫瘍	100
前立腺の悪性腫瘍	49
上部尿路疾患	33
前立腺肥大症等	18
男性生殖器疾患	9
腎臓または尿路の感染症	9
腎、泌尿器の疾患（その他）	5
肺の悪性腫瘍	5
経尿道的前立腺手術（その他）	5
腎盂・尿管の悪性腫瘍	5
下部尿路疾患	5

患者さんの安心を支えるチーム医療。

医長　森本 和也（もりもと かずや）

プロフィール＋α

学生時代はテニス部。今も、体力づくりとストレス解消に続けています。

私が泌尿器科の医師になるのを選んだのは、マイナー科でありながら全身管理を含め、多岐にわたる病気に携われることに魅力を感じたからです。実際、さまざまな患者さん、数多くの症例に相対し、ひとつひとつが貴重な体験となってきました。素晴らしい先生や先輩に恵まれ、多くの技術が身につけられたのもかけがえのない宝となっています。

現在は日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医として、また日本の泌尿器科では取得者が少ない日本ミニマム創泌尿器内視鏡学会施設基準医としてのキャリアを活かしながら、診療と手術、また後進の指導にも励んでいます。

同じ疾患であっても、患者さんごとに治療の適用は変わります。何がその方にとって一番かということを見極め、当院の設備で対応が難しいと判断すれば、提携の病院にためらいなく紹介し、より早く最良の医療を受けていただくことが、私たちの使命のひとつだと思います。

手術は安全確実をモットーに、丁寧にすることを心がけています。もちろんすべて自分一人でできることではありません。当院は良好なチームワークがあるからこそ、安心して治療を受けていただけると自負しています。

2007 年鹿児島大学医学部卒業後、大阪市立総合医療センターでの研修を経て大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科入局。2017 年 4 月より現職。日本泌尿器学会専門医・指導医、日本ミニマム創泌尿器内視鏡学会施設基準医、日本透析医学会専門医、日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

的確な指導のもと、成長を実感する日々。

医員　畠中 聡（はたなか そう）

プロフィール＋α

趣味はフットサル…でしたが、今は子育てがいちばんの趣味に。

４月の赴任以来、日々知識と技術の向上に努めています。当院泌尿器科は手術症例が多く、人間関係が良好なので医師のスタートを切るのには理想的なところと実感しています。雰囲気も明るく、手術の手技も上達を褒めてもらうことで、モチベーションがどんどん上がっています。

先輩方を見習って、患者さんに誠実に向き合い、最適の医療を一緒に考えていけるような医師になるのが目標です。当面は日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医の資格取得を目指し、経験を重ねていきたいと思っています。なにとぞご指導よろしくお願いいたします。

2016 年大阪市立大学医学部卒業。育和会記念病院泌尿器科での研鑽を経て、2019 年 4 月より当院へ。

Expert！ 専門領域を究めるリソースナースたち

当院の専門分野で活躍する看護師をご紹介いたします。

Message 新・認定看護師誕生！

この７月、新たに当院の認定看護師に加わった米田愛より、その意気込みをお伝えいたします。

２人体制で力を合わせ、より充実した専門ケアを

皮膚・排泄ケア認定看護師 **米田 愛**

外科病棟に身を置きながら週に２回のストーマ外来を担当し、認定資格の取得を目指してきました。お陰さまで無事合格を手にすることができ、ほっとしています。もちろん、皮膚・排泄ケア認定看護師は基本的には医師、栄養管理士、薬剤師、理学療法士など多職種のスタッフと連携して質の高い看護を提供していくものです。現在は皮膚・排泄ケア専従で活動してきた認定看護師の先輩・柿元も産休から復帰し、２人体制で専門的なケアに携われることで、さらに幅広い活動への取り組みにも挑戦していきたいと願っています。

また、私自身は病棟と兼任であることから、患者さんやそのご家族、またスタッフにより近い立場で、皮膚・排泄ケアへのアプローチができる点を活かしていきたいと考えています。特に認定看護師の果たすべき役割の三本柱として「実践」に加え「指導」「相談」が挙げられています。今後は当院のスタッフはもちろん、ゆくゆくは在宅ケアを担当する人々との合同カンファレンスや勉強会などを開催するなど、より地域医療のお役に立てる方法を探り実践に向け努力していく所存です。なにとぞよろしくお願いいたします。

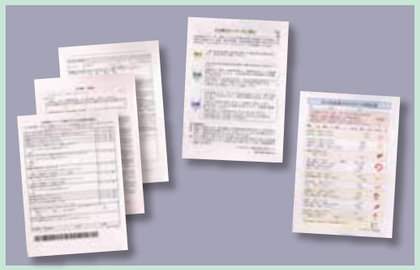
各診療科との連携による外来化学療法治療

がん化学療法認定看護師 **中島 いづみ**

当院で外来化学療法を受けられる患者さんは年々増加され、昨年度で2,５００件、今年度はさらに増える見込みです。

現在、当院の外来化学療法センターでは、以前にご紹介しましたように、がん化学療法認定看護師１名、がん薬物療法認定薬剤師２名の布陣で外来化学療法にあたり、副作用のマネジメントに努めています。

外来化学療法を受けていただくにあたっては、まず毎回各診療科で専用のシートによる問診に答えていただき副作用の状況を確認して、特にグレード２以上の副作用の方には慎重に対処するようにしています。外来化学療法センターにおいては治療開始前に必ずカンファレンスをして当日の患者さんの状況を把握し、前回の指導と評価について話し合います。各診療科での診察時間内に対応が難しい副作用へのよりきめ細やかな対応をチームとしてフォローする意味でも、それぞれの患者さんの生活背景をふまえ、より日々の生活のなかで注意・実践しやすいよう具体的なアドバイスをするのが私たちの役割と考えます。副作用でお悩みのある患者さんに関しては、前回との変化を確認してできるだけ納得いただける形で提示し、ご自身が自己効力感を得られるようサポートしています。また、たとえば薬剤の種類によって末梢神経に障害が出やすいものは投与中に冷却をするなど、患者さんの苦痛にならない範囲で可能な対処を行なうようにしています。



問診票は抗がん剤と免疫療法、治療法別に用意し、小さな変化も見逃さないようにしています。

治療薬にもどんどんバリエーションが生まれ、「免疫チェックポイント阻害薬」と「抗がん剤」の併用が行われるケースも多くなっています。これに伴い、副作用も複雑化し、多岐にわたるため、より注意深い対応が求められるようになってきました。私たちも常に最新の情報を共有するとともに観察と考察を深め、患者さんへの適切な指導、教育ができるよう努めています。

登録医紹介

中島アレルギー・呼吸器内科クリニック

標 榜 科：呼吸器内科／アレルギー内科
住　　所：〒545-6022
大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 22 階
電話番号：06-6657-7701　http://www.respiallergy.com/
アクセス：近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、大阪メトロ・JR「天王寺駅」、阪堺電車「天王寺駅前」
（あべのハルカス 22 階メディカルプラザ内）

院長・医学博士　中島宏和先生

――御院についてお聞かせください。

呼吸器疾患を主に診させていただいております。咳嗽をメイン症状に受診される患者さんが多く、原因精査・鑑別・治療を行っています。

――日々の診療ではどういったことを心がけておられますか。

咳には簡単に診断がつく場合もありますが、種々検査をしても原因がわからず症状も改善しない場合もあります。その場合は、独りよがりにならず、鉄道病院などの専門医の先生方にさらなる精査加療をお願いし、患者さんのニーズにお応えしようと考えております。

――同じ開業医のみなさんへのメッセージがあればお聞かせください。

あべのハルカス内に異なる専門性をもつ医療機関が入っており、横のつながりを大切に助け合いながら日々の診療を行っております。ハルカス外の実地医科の先生方にも教えを乞い、いつも快く診ていただき大変感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

子ども時代は旧国鉄の大ファン。自分で考えた特急や急行の名前を書き列車ダイヤをつくるのが趣味でした。そんな私が大阪鉄道病院にお世話になるとは偶然ではなく必然？この「地連ぽっぽ」でも、電車・列車のことをワンポイントでも掲載していただけると嬉しいですね。

あずま整形外科リハビリテーションクリニック

標 榜 科：整形外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科
住　　所：〒547-0002
大阪市平野区加美東４丁目 11-15
プラムガーデンハイツ１階
電話番号：06-4303-7775　http://azuma-rehabili.com
アクセス：JR「加美駅」、「新加美駅」より徒歩３分
駐車場３台あり　※クリニック北側に隣接

院長・東　隆司先生

―― 御院についてお聞かせください。

開業する前は主に膝関節疾患（人工膝関節置換術）を専門としておりました。またリハビリに関しても、回復期病棟に長く勤務していましたので、比較的精通していると思っています。

――日々の診療ではどういったことを心がけておられますか。

一人で頑張るより、みんなでひとつのことを成し遂げることの方が好きなので、特にクリニックのチームの和は大切にしています。また、自分がしゃべるより、人の話を聞くことの方が好きなので、そういった点は普段の診療に役に立っていると思います。

――JR 大阪鉄道病院へのご要望、メッセージをお願いいたします。

祷先生をはじめ、特に整形外科の先生方にはいろいろお世話になっております。
手術などの高度な治療は貴院にてお願いします。当院は各分野の比較的ベテランの理学療法士がそろっておりますので、術後のリハビリなど、お役にたてることがあればご紹介よろしくお願いいたします。

趣味としては旅行が好きでしたが、開業してからなかなか行けなくなりました。あとフルート演奏やゴルフ、英語も少しかじっております。